

学校運営協議会 議事録

校名	府立豊島高等学校
校長名	宮地 宏明

開催日時	令和5年6月12日(月)15:00~16:40
開催場所	府立豊島高等学校1階 会議室
出席者(委員)	家島会長、野村委員、東前委員、安藤委員、大石委員、村井委員
出席者(学校)	宮地校長、坂口教頭、森事務長、井伊教諭
傍聴者	なし
協議資料	令和4年度学校評価、令和5年度学校経営計画、46期生進路状況、スクールミッション等、教科書見本本
備考	

議題等(次第順)	
<p>校長挨拶、委員等自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度学校評価、令和5年度学校経営計画について ・46期生進路状況について ・スクールミッション及びスクールポリシーについて ・令和6年度 教科書選定について 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>○令和5年度 学校経営計画</p> <p>校長より第2次大阪府教育振興基本計画をふまえ変更した中期目標の柱建て及び計画の概要を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの協議会の中で一番わかりやすかった。指標に共感することが多かった。 ・学びのアウトプットが大事だと思う。 ・教員の同僚性の育成や業務のスクラップを行っていくといった方針に賛成。 ・限られた時間と場所で先生たちが頑張っていることが協議会でわかったので、生徒たちのことも大事だが、先生たちのケアや育成ができる時間があれば良いと思う。 ・先生たちは忙しいと感じた。働き方改革といわれている中、業務を整理し残業を減らして専門的な勉強ができる時間がとれるようになればよい。 ・学校経営計画について教員間で共有することが大事。作るだけで終わるのはよくない。 ・学校経営計画はシンプルにしていく方針に賛成。生徒のためにあるようにしてほしい。 ・進学講習等を計画的に実現し、早い段階での進路意識の醸成を図るべきである。 ・校区の小中学校などに授業見学の取組みの情報を発信していくことが大事。 ・部活動の充実や土曜講習・勉強合宿を行うことによる教員の負担に対する工夫はあるか？ <p>【回答】これらの取り組み以外で減らす工夫を行っている。例えばペーパーレスによる職員会議の時間短縮。ステップアップチャレンジ日の監督は多くの先生に当番をあてて業務を平準化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務のスリム化や効率化については、簡単にできることと大変なことについて重要度、緊急度、かかるコストなどを考えて行うとよい。外部の考えを取り入れて検討するのがよい。 ・スタディサブリの導入はいい取組み。応用力をつける工夫ができればよい。 ・授業研究委員会の立ち上げはよいと思う。 ・動画とかデータの共有で学べるのは自学的に学べる子どもでもあり、苦手な子どもへのフォローが必要。 ・生徒を巻き込んで教え合いを行っていくことが大事。できる子ができない子を教え合うのがよい。 ・近くに大阪大学がある。探究学習のサポートもあるので活用できると思う。 ・授業の中で教え合いや学び合いを実践している授業もあるので授業見学などで共有できると良い。スタディーアプリなどを利用するとやる子とやらない子の差が出てくる。取り組んでいない生徒に声かけをしながらやるように勤めていくことが公教育では必要。 <p>○校長より46期生進路状況について説明</p> <p>○スクールミッション及びスクールポリシーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとの個性が出せるとよい。 ・昨年よりボトムアップで作成されており、良いと思う。 ・生徒や教員のみみんなが知っているポリシーであってほしい。 <p>○教科書採択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの教科書は探究的な内容になっているので教える工夫が必要。 ・カラーで見やすくなっている。 	
次回の会議日程	
日時	未定
会場	府立豊島高等学校1階 校長室(予定)